

## 市民協働によるまちづくり 市民討議会を開催しました

8月26日、市役所1階市民の土間で市民討議会を開催しました。

市民討議会は、市民協働によるまちづくりを推進するため、平成24年度から公益社団法人五所川原青年会議所と市の協働で実施しており、今年で7回目となります。無作為に抽出した1,500名の市民へ参加案内書を送付し、参加を希望した市民から抽選で決定した方々が「暮らしてみたくなる・帰ってきたくなる五所川原」をテーマに意見を出し合いました。

参加者は、6つのグループに分かれ、①市民が誇れる五所川原の魅力は何か、②県外の人を五所川原の魅力で惹きつけよう、③暮らしてみたくなる・帰ってきたくなる五所川原を考えようの3ステップで討議を行いました。様々な立場や年代の参加者が議論し、最後にグループごとに討議結果を発表しました。討議結果は、報告書としてとりまとめ、後日市長へ提出します。

市民討議会のコーディネーターを務めた平井太郎准教授（弘前大学大学院地域社会研究科）は「人口減少が進む中で、それに対応していくためには、今回のよ

うに活発に意見を出し合い市民一人一人がどんなことができるかを考えることが重要。本日話し合われた様々な意見について、ぜひ参加していない方にも伝えてほしい」と総括しました。

参加した皆さんから出された意見やアイデアは、市民意見として今後の施策推進の参考にさせていただきます。

問…企画課 内線2234



意見を出し合う参加者の皆さん

## 第2回津軽鉄道×フォトワークショップを開催しました

9月30日、津軽鉄道沿線の魅力を伝えるために、プロカメラマンの成田亮さん（弘前市）を講師に招き、第2回フォトワークショップを開催しました。



フォトワークショップ当日の様子

当日は9名が参加し、津軽鉄道を利用して金木町の喫茶「駅舎」や斜陽館を巡り、講師から写真の撮影技術や印象的な撮り方についてアドバイスを受け、各々が沿線の魅力をカメラに収めました。

問…津軽鉄道活性化協議会事務局  
（都市計画課 内線2635）

### 『乗って応援!!みんなの津軽鉄道』実施中

津軽鉄道の年間利用者数30万人を目指して、皆さんで利用して支えていきましょう。

乗って応援!!みんなの津軽鉄道	
平成30年度目標乗車人数	300,000人
平成30年8月までの乗車人数	83,888人
速報!!平成30年9月の乗車人数	12,145人
目標達成まであと…	203,967人

## 平成30年北海道胆振東部地震災害義援金の受付について

日本赤十字社では、被災者の1日でも早い復興を願い、災害で被災された方々を支援する義援金を受け付けています。皆さんの善意をお待ちしています。

**銀行振込の場合**（各本店・支店に専用振込用紙があります。手数料無料）

▷青森銀行 新町支店 普通預金「16000」

日本赤十字社青森県支部 支部長 三村 申吾

▷みちのく銀行 青森支店 普通預金「4200888」

日本赤十字社青森県支部 支部長 三村 申吾

\*他の義援金と区別するため必ず義援金名欄に「平成30年北海道胆振東部地震災害義援金」と明記してください。

**郵便振替の場合**（窓口での取り扱いの場合、振替手数料は免除）

▷口座加入者名 日赤平成30年北海道胆振東部地震災害義援金 口座記号番号 「00130-1-673591」

\*受領証発行希望の場合は、通信欄に「受領証希望」と記載してください。

このほかに、日本赤十字社北海道支部への振込等があります。詳しくは、日本赤十字社ホームページをご覧ください。

また、市役所本庁舎・金木総合支所・市浦総合支所には、義援金募金箱を設置しています。義援金受付期間は平成31年3月31日(日)までとなっています。

問…保護福祉課 内線2413